

指導医 申請資格チェック表 (新規申請用)

下記項目のすべてにチェックがされますと、申請することが可能です。

<チェック項目 9箇所>

- 1 : 本会専門医取得後、継続して5年以上本会会員である者
注) 会員歴は **OHASYS** で確認してください。
- 2 : 下記のいずれかに該当する者
A、大学病院等で高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療を担当する診療科又は診療部門の長である者
B、専門医として通算5年以上にわたり、研修機関で高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療に従事(常勤)している者
*非常勤の場合は、事務局までお問い合わせください。
C、専門医として通算7年以上にわたり、研修機関以外の病院または診療所において、高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療に従事(常勤)した者
- 3 : 高齢者に必要とされる歯科医療に関する深い知識と豊富な臨床経験を有する者
- 4 : 研修機関等における研修指導に従事し、専門医の育成を担当する資質を有する者
- 5 : 本会学術大会へ **2回以上**の参加(申請前5年間/要参加証明)
OHASYS「学会情報」より大会等参加履歴を抽出してください。
※「抽出期間」を指定し必要な部分のみを出力してください。
<https://ohasys.net/login>
※旧研修単位システムより出力した参加記録も有効です。
- 6 : 本会主催・共催 研修(別表1・1・2)を **6回以上**の参加(申請前5年間/参加証明)
OHASYS「学会情報」より大会等参加履歴を抽出してください。
※「抽出期間」を指定し必要な部分のみを出力してください。
<https://ohasys.net/login>
※旧研修単位システムより出力した参加記録も有効です。
- 7 : 申請前5年間において「医療倫理」と「医療安全」と「救急救命」に係る研修会へのそれぞれ1回以上の参加
1) 1つあるいは2つの研修会で複数項目同時に修了しても構わない。
2) 上述6:の参加歴との重複は認められない。
(参加や受講が証明できる資料を添付してください。Eランニング等可。)

8：□ 日本老年歯科医学会における業績（別刷り等の提出）

高齢者に必要とされる歯科医療に関する下記の業績項目のうち5件を満たすものとする。

- 1) 申請前10年間において「老年歯科医学」または「Gerodontology」掲載論文1編（筆頭著者、共著者は問わない）
- 2) 申請前5年間において「老年歯科医学」または「Gerodontology」以外の学術誌への掲載論文1編（筆頭著者、共著者は問わない）
*査読が行われている学術誌に限る。
*商業誌は認めない。
- 3) 申請前5年間において日本老年歯科医学会 学術大会での発表歴2回（演者、共同演者は問わない）

9：□ 高齢者に必要とされる歯科医療に関連する診療実績100例以上を一覧表として報告する。（申請前5年間）

*患者数はのべ人数とする。（一人の患者での領域重複可）

すべてにチェックがされましたら、提出書類の準備をしてください。